

みなみあいづ

議会だより

第46号

平成29年10月25日



- 6月定例会・・・・・・・・・・・・・・・・・・2ヶ月～
平成28年度の決算・議案審議
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・9ヶ月～
13人の議員が町政を問う
- 議会報告会・・・・・・・・・・・・・・・・・・23ヶ月
- 町民の声・・・・・・・・・・・・・・・・・・24ヶ月

かっぱい引っぱれ！
田部原保育所 運動会

平成28年度の 決算を認定



決算のあらまし

平成27年度と比較

【歳入】

新庁舎などの施設整備事業に伴う基金の繰入金が98・6%増になったほか、繰越金が増えた。補助金などの諸収入が39・7%増加しました。

【歳出】

投資的経費は、新庁舎やクロスカントリコース建設、関東・東北豪雨災害復旧事業などにより、全体で8・1%増加しました。経常経費のうち、維持補修費が除雪経費の大幅増で37・6%増加し、義務的経費は、全体で0・6%増加となりました。

【株式等譲渡所得割交付金】

株式などの譲渡をした際の対価の一部として取められた税を財源とする交付金

【利子割交付金】

金融機関などからの利子の支払いを受ける際に取められた税を財源とする交付金

【投資的経費】

支出の効果が資本形成に向けられ、将来に残る施設建設などに充てる経費

【経常経費】

毎年決まって支出される経費（維持補修費・物件費など）

【義務的経費】

支出が制度的に義務づけられている経費（人件費・扶助費・公債費）

平成29年第3回定例会が、9月8日から15日までの8日間の会期で開催され、町から条例の制定・改正6件、平成28年度決算認定8件、平成29年度補正予算5件、その他の議案や報告など3件が提出されました。

また、議会から議員提出議案が1件、委員会提出議案1件が提出され、慎重な審議が行われました。



決算審査の意見

行財政改革のさらなる推進を

自主財源である町税（町民税・固定資産税・軽自動車税）の未納額が依然発生しています。前年度と比較すると減少しており、3年連続の減少となりました。

また、国民健康保険税の未納額も、前年度と比較すると減少しており、税務担当職員の真摯な取り組みの成果であると評価できます。使用料などの未納額は、保育料や町営住宅使用料は前年度と比較して減少している一方で、下水道使用料や水道事業会計を含めた水道使用料は、増加しておりますので、町税滞納対策の取り組みに学び、滞納解消に向けて一層の努力が必要です。



木下光廣 代表監査委員

平成28年度の財政指数は、健全財政に向けた改善のあとが見られますが、今後も普通交付税など一般財源の減少や人口減少で、財政の見通しがますます厳しくなることから、行財政改革のさらなる推進が必要です。

限られた財源の効率的・効果的な活用を念頭に置き、町民の立場に立った安全で安心して暮らせる町の実現に向け、第2次南会津町振興計画の目標達成に向かって努力されることを期待します。

平成28年度 一般会計決算

歳入総額
151億8,197万円
歳出総額
141億7,118万円

1000分の1に
置き換えてみると・・・

町の家計簿

— 収 入 —		— 支 出 —	
(前年度との対比額)		(前年度との対比額)	
給料 【町税】	162万円 (5万円)	食費 【人件費】	195万円 (－5万円)
パート収入 【負担金・使用料・手数料など】	17万円 (同額)	光熱水費・日用品の購入 【物件費・補助費等】	348万円 (－41万円)
親からの仕送り 【地方交付税・国県支出金など】	992万円 (－37万円)	養育費・医療費など 【扶助費】	106万円 (17万円)
金融機関からの借り入れ 【町債】	132万円 (－59万円)	車の修理代など 【維持補修費】	68万円 (19万円)
その他の収入・貯金引出 【寄附金・繰入金・繰越金・諸収入】	211万円 (82万円)	子どもへの仕送り 【他会計への繰出金 [※] 】	117万円 (－8万円)
不動産収入 【財産収入】	4万円 (同額)	貯金 【積立金】	56万円 (－35万円)
1年間の収入合計	1,518万円 (－8万円)	生命保険など 【投資・出資・貸付金】	8万円 (同額)
		家屋の増改築など 【普通建設事業費】	236万円 (－5万円)
		被害箇所の修理 【災害復旧事業費】	124万円 (31万円)
		借金の返済 【公債費】	159万円 (－10万円)
		1年間の支出合計	1,417万円 (－37万円)
貯金残高は 740万円 (▲54万円)		借金の返済残高は 2,149万円 (▲33万円)	

貯金残高および借金の返済残高には、特別会計を含んでいます。
[※]繰出金の説明はP7に掲載しています。

町の家計は大丈夫？

親からの仕送りが頼り

前年度と比較して、収入が0.6%、支出が2.5%減少しました。支出では、養育費・医療費など（扶助費）や車の修理代など（維持補修費）、被害個所の修理（災害復旧事業費）で支出が増えたため、光熱水費・日用品（物件費・補助費等）の購入や貯金（積立金）を減らし、節約に努めました。

収入では、町が自由に使える財源給料（町税）が若干増加し、全体の10.7%となっています。一方で、親からの仕送り（地方交付税・国県支出金など）は、全体の65.3%を占めています。

町の家計をみると、まだまだ親からの仕送りがないと成り立たない状況ですが、それでも堅実なやりくり（行財政運営）がされて、少しずつ状況は改善しています。

町村合併から10年が経過（合併算定終了）し、今後の親からの仕送りは少しずつ減っていくこととなります。

親からの仕送りに頼らない自律的な家計を保つためにも、町民所得の向上に取り組む必要があります。

平成28年度特別会計の決算額

会計名		歳入	歳出	差引
国民健康保険特別会計		22億2,297万円	22億0,859万円	1,438万円
後期高齢者医療特別会計		2億1,181万円	2億1,181万円	0万円
介護保険特別会計		21億1,763万円	20億3,974万円	7,789万円
農林業集落排水事業特別会計		1億6,690万円	1億6,085万円	605万円
公共下水道事業特別会計		3億9,884万円	3億7,399万円	2,485万円
簡易水道事業特別会計		6億3,294万円	6億2,470万円	824万円
企業会計		収入	支出	差引
水道事業会計	収益的収支	1億6,037万円	1億3,609万円	2,428万円
	資本的収支	4,710万円	1億5,001万円	-10,291万円

主な財政指数

項目	平成28年度	平成27年度	解説
財政力指数 (3力年平均)	0.229	0.233	町の仕事に必要な経費をどのくらい自力で賄えるかを表す数値で、「1」に近いほど財政力が高い。
標準財政規模	86億9,589万円	91億6,719万円	町の標準的の仕事に必要な経費の額
経常収支比率	85.9	83.9	町税や地方交付税などの収入が、経常的な支出（給与・借金返済など）にどのくらい使われたかを示す数値で、小さいほど自由に使えるお金が多い。
実質公債費比率 (3力年平均)	5.2	6.1	標準財政規模に対する借金返済の割合で、18%を超えると、新たに借金をするときに許可が必要になるなど制限が付く。
将来負担比率	19.8	16.1	将来負担しなければならない借金などが、標準財政規模に対してどのくらいあるかを表す数値

年度別各種税金・使用料等未納累計額

年度	町税	国民健康保険税	後期高齢者医療保険料	介護保険料	保育料	町営住宅使用料	農林業集落排水使用料	公共下水道使用料等	簡易水道使用料	水道使用料等
26	1億8,397万円	1億3,511万円	220万円	1,153万円	561万円	2,686万円	827万円	1,319万円	5,074万円	3,127万円
27	1億7,813万円	1億2,399万円	273万円	1,231万円	459万円	2,661万円	891万円	1,335万円	5,294万円	3,271万円
28	1億2,778万円	1億1,371万円	321万円	1,274万円	381万円	2,442万円	885万円	1,375万円	5,602万円	3,460万円

ヤマザクラでまちづくりを

基金条例を可決

ヤマザクラ二万本の里づくり基金条例

ヤマザクラ1万本の里づくり事業は、ヤマザクラの植栽を行い、自然豊かな町の森林の再生を推進し、地域の振興と交流人口の増加を目指すことを目的としています。

事業は10年計画で行われることから、長い事業期間に対応できるように協賛者を募り、その受け皿として財源確保を行っていくための基金です。

基金はヤマザクラの苗木購入や植栽後の管理などに使われます。

平成28年度各種会計決算

乗客少ない乗合タクシー対策は

問

館岩地域乗合タクシーの年間の乗車人数が少ないのに対し、委託料がかかりすぎていると思いますが、対策は。

答

地域住民の利便性や実情を踏まえながら現在の運行体制をとっています。県と協議しながらよりよい体制を検討していきます。



館岩地域乗合タクシー地域住民の足として運行されている

平成28年度地域乗合タクシー運行実績

路線名	運行距離	運行回数	年間乗車人数	委託料
南郷地域乗合タクシー	30.0km	4.5 往復	5,106 人	892 万円
館岩地域乗合タクシー	116.3km	3.0 往復	2,003 人	1374 万円
栗生沢乗合タクシー	14.2km	2.5 往復	4,130 人	395 万円
萩野・藤生乗合タクシー	18.8km	2.0 報復	2,766 人	491 万円

奨学資金未償還への対応は

問 奨学資金が償還されていない方への対応は。

現状を聞き取りしながら、分納による対応も行っています。

答

毎月口座引き落としにより償還していただくことになっていきますが、諸事情により償還できない方もいます。

観光入込数の積み上げは

問

観光客の入込数の目標値は、どのように積み上げしているか。

答

施設の入込数を把握しながら、実績に応じて、目標値の積み上げを行っています。各施設の実績を検証しながら、今後の観光事業を進めていきます。

スキー場や道の駅などの主要な施設19カ所の入込数を把握するほか、観光物産協会をおして、民宿やペンションなどの小規模な

平成29年度一般会計補正予算

GPS搭載の効果は

問

除雪経費計算システム導入に伴い、除雪車両にGPSを搭載することになります。除雪車両は全部で何台か。またシステム導入の効果は。

答

除雪車両は委託・直営合わせて80台あります。システム導入により、事務の効率化と除雪ルート of 正確な管理を行うことができます。



除雪のようす
GPSは除雪ルートの正確な記録を行うために搭載される



繰出金（繰入金）とは、一般会計から特別会計へ会計相互間で支出される経費のことです。町民の皆さんから保険料や使用料を収めていただき、それでも不足する分は、一般会計から繰出金として支出して補っています。下記の表のとおり、全ての特別会計に一般会計から繰出金を支出しており、一般会計歳出決算額のうち、約8・3%を占めています。

平成28年度各会計間繰入繰出金額

区分	一般会計	国民健康保険特別会計	後期高齢者医療特別会計	介護保険特別会計	農業集落排水事業特別会計	公共下水道事業特別会計	簡易水道事業特別会計	水道事業特別会計
繰入金	344万円	1億7390万円	8968万円	3億1543万円	1億109万円	1億6841万円	1億1242万円	452万円
繰出金	9億6545万円	0円	0円	344万円	0円	0円	0円	0円

1件の工事契約を可決

【工事請負契約】

- ◆ 工事名
新庁舎建設事業地中熱利用システム導入（融雪2期）工事
- ◆ 工事内容
地中熱交換機設置（L=100m）22か所
放熱管設置一式、主配管設置一式
機械室設置1基
- ◆ 請負金額 9,936万円
- ◆ 工事場所 田島字後原地内
- ◆ 契約の相手方 会津ガス株式会社
田島営業所

9月定例会の議案審議では45件の質疑がありました。

紙面の都合上、議会だよりでは一部のみ掲載しております。

詳しい質疑内容は会議録で確認することができますので、議会事務局にお問い合わせください。

また、本会議のようすはインターネット（You Tube）で見ることができます。

【<http://www.minamiaizu.org/gikai/>】

国へ意見書を提出

議員提出議案

採択

「全国森林環境税」の創設に関する意見書

我が国の地球温暖化対策については、2020年度及び2020年以降の温室効果ガス削減目標が国際的に約束されていますが、その達成のためには、とりわけ森林吸収源対策の推進が不可欠となっています。

しかしながら、森林が多く所在する山村地域の市町村においては、木材価格の低迷や林業従事者の高齢化・後継者不足に加え、急速な人口減少など、厳しい情勢にあるほか、市町村が、森林吸収源対策及び担い手の育成等山村対策に主体的に取り組むための恒久的・安定的な財源が不足しています。

森林の公益的機能を確保しつつ、それを支える林業を成長産業化させることで地方創生を推進していくためにも、我が国全体で森林・林業・木材関連産業を支え、再生を図る必要があります。

以上のことから、森林・林業・山村対策の抜本的強化をはかるための「全国森林環境税」の早期導入を強く求めます。

（一部抜すい）

総務委員会提出議案

採択

地方財政の充実・強化を求める意見書

地方自治体は、子育て支援策の充実と保育人材の確保、高齢化が進行する中で医療・介護などの社会保障への対応、地域交通の維持など、果たす役割が拡大する中で、人口減少対策を含む地方版総合戦略の実行やマイナンバー制度への対応、大規模災害を想定した防災・減災事業の実施など、新たな政策課題に直面しています。

一方、地方公務員をはじめとした公的サービスを担う人材に限られる中で、新たなニーズへの対応と細やかな公的サービスの提供が困難となっており、人材確保を進めるとともに、これに見合う地方財政の確立をめざす必要があります。

本来、必要な公共サービスを提供するため、財源面を担保するのが地方財政計画の役割ですが、財政再建目標を達成するためだけに歳出削減が行われ、結果として不可欠なサービスが削減されれば、本末転倒であり、国民生活と地域経済に疲弊をもたらすことは明らかです。

このため、2018年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、国民生活を犠牲にする財政とするのではなく、歳入・歳出を的確に見積もり、人的サービスとしての社会保障予算の充実と地方財政の確立をめざすことが必要であることから、地方財政の充実・強化を強く求めます。

（一部抜すい）

一般質問



13人の議員が登壇

登壇順序・質問項目

- 1 **山内 政 議員**・・・10分
①前沢曲家集落の今後の維持と対応
- 2 **高野 精一 議員**・・・11分
①女性向け補助金
②遊休農地について
③老朽化した町の施設
- 3 **森 秀一 議員**・・・12分
①工事等の年度繰上げ予算と発注
②温泉施設を利用する高齢者の支援拡充
- 4 **楠 正次 議員**・・・13分
①水道水給水事業
②メガソーラー用地貸付
③山村留学
④町長の所信について
- 5 **大桃 英樹 議員**・・・14分
①子育て世代包括支援センターの役割
②リゾートイン台鞍の拡充
- 6 **菅家 幸弘 議員**・・・15分
①さいたま市との都市交流
- 7 **丸山 陽子 議員**・・・16分
①防災士の養成
- 8 **渡部 訓正 議員**・・・17分
①南会津二次医療圏の存続と県立南会津病院の充実強化
- 9 **室井 嘉吉 議員**・・・18分
①「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の林業政策
②林業成長産業化地域創出モデル事業
- 10 **室井 英雄 議員**・・・19分
①Jアラート（全国瞬時警報システム）に対する町の対応は
②学校プールの活用
- 11 **貝田 美郎 議員**・・・20分
①消火栓設置
②納税方法
③一万本のヤマザクラに名前を
④庁舎1階協働スペースの活用
- 12 **湯田 哲 議員**・・・21分
①通年型屋内プール建設と町民の健康維持
②会津田島駅から役場までの通り整備
③新しく導入されたテレビ会議
- 13 **湯田 良一 議員**・・・22分
①町の花でまちおこしを
②観光客誘客のための街並み整備

平成29年9月定例会の一般質問は、13～14日の2日間にわたり行われました。一般質問は、議員が町の行政全般にわたり執行機関に問題点をただし、所信の表明を求めて政治姿勢を明らかにするものです。



前沢曲家集落の今後の維持と対応は

町長＝公有化を含めて検討

問

前沢地区が国の伝統的建造物群保存地区に選定されてから屋根の修繕実施件数は何件か。また、経費の負担割合は。

町長

平成28年度までの6年間で差し茅20件です。丸葺きは実施されておられません。修繕費用が1件あたり約245万円、そのうち90%が補助、個人負担は10%で約25万円です。

問

丸葺き替えを行うと個人負担は相当なものになり、全額補助を行う考えは。

町長

丸葺き替えは2千万円程度で個人負担は200万円程度です。前沢地区は屋根の状況を見ながら差し茅による修繕で対応していきます。現時点で全額補助は考えておりません。

問

今後の丸葺き替えに対応するため前沢曲家集落維持の基金創設をする考えは。

町長

基金創設の考えはありません。補助金の町負担分は毎年の一般財源で対応していきます。

問

後継者が不在になった場合の対応と所有者が取り壊しを申し出た場合の対応は。

町長

所有者に適切に管理し、維持管理が困難な場合も想定されます。また、空き家には移住希望者の斡旋も想定されます。

問

取り壊しの対応については、貴重な伝統的建造物を保存していくことに対する重要性を説明し、引き続き維持管理していただくよう交渉していきたく思います。また、遠方に居住し、維持管理が困難な場合も想定されますので、公有化も含めて検討を進める必要があります。

用語

※ 伝統的建造物群保存地区

歴史的な集落や町並みを継承したいとする住民の意欲と自治体の取り組みを支援するため、昭和50年の文化財保護法の改正で創設された文化財保護制度。保存地区は全国で100地区以上あり、前沢地区は平成23年6月に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された。



展望台から望む前沢曲家集落



女性向け補助金創設を

町長＝若者定住応援プログラム交付金で対応

問

新卒の女性が町内に就職した場合に、町から三年間を限度として補助してはどうか。

町長

新規学卒者やU・Iターン者の生活支援策として、一人一回に限り十万円を交付しています。

地元企業への就労機会が高まることは、まちづくりの観点から重要な要素と捉えています。今後若者定住の支援の在り方を議論しながら、人口減少に歯止めをかける施策展開に努めます。

遊休農地の在り方は

町長＝農地利用意向調査に基づいて

問

平成29年度から遊休農地の課税対象額が上がります。

土地所有者への周知方法は。

町長

農業委員会から農地中間管理機構と協議することの勧告がされた後、農業委員会が実施する農地利用意向調査において所有者に直接お知らせします。

問

雑種地にすることは可能か。また、今後の指導計画は。

町長

明確な転用目的がある場合、山林化しての場合、農業委員会が非農地証明を交付することにより、地目変更が可能な場合があります。

地域ぐるみで相談する「人、農地プラン」の作成を通じて、解決策を探りながら指導していきます。

老朽化した施設の管理計画は

町長＝10年間を見据えた個別計画策定を検討

問

南会津町公共施設等総合管理計画の具体的な個別計画は。

町長

今後10年間を見据えた個別計画の策定を検討し、庁内個別検討委員会を立ち上げ、優先順位付けを行っていきます。

町の財政状況や公共施設等の保有状況について、情報公開に努め、広く意見を募り住民との協働により維持管理に努めます。



びわのかげプールのように町内施設の計画的な管理が求められる



年度繰上げ予算と工事発注は

町長＝早期の工事発注に取り組む

問

町単独事業と起債事業を年度繰上げ予算と発注により繰越ができませんか。

町長

一年間に起こった収入と支出は、一切この期間内に整理・完結し、他の年度に影響を及ぼさないと、「会計年度独立の原則」に基づいています。制度上、年度を繰上げての予算執行は出来ません。

問

年度当初に施工できる工事の発注方法は。

町長

年度当初に早めの入札を行い、早期の工事発注に取り組んでおります。今後も年度当初より発注できるよう、関係各課と連携し、設計・積算に取り組みます。

温泉施設を利用する高齢者の支援拡充を

町長＝年間券利用者も利用助成券で他施設を利用

問

「元気でゆうゆう温泉等利用助成事業」による各指定温泉施設の利用状況は。

町長

左表のとおりです。

問

年間券購入者の助成支援は。

町長

利用助成券は、元気高齢者に対し、閉じこもり予防や高齢者の生きがいづくりなどの基盤づくりのため交付しています。

問

年間券利用者にも利用助成券を利用していただき、他地域の温泉施設の周遊により、各地域住民と交流を深めることも有効と考えます。

問

利用者の普及拡大は。

町長

PR活動は重要であり、温泉施設においてのPRポスター掲示や老人クラブ会員が一堂に介する高齢者福祉大会でのチラシ配布など、高齢者に情報が伝わるよう周知徹底します。

平成 28 年度元気でゆうゆう温泉等
利用助成事業利用実績

地域	指定施設名	利用枚数
田島地域	夢の湯	343枚
館岩地域	白樺の湯	0枚
	ことぶき荘	117枚
伊南地域	花木の宿	74枚
	赤岩荘	1,181枚
南郷地域	さゆり荘	155枚
	里の湯	27枚
	ホテル南郷	138枚
	きらら289	1,320枚
計		3,355枚



メガソーラー用地貸付契約は

町長＝進捗状況について随時確認する

問

「南会津太陽光発電所」は、
昨年の説明では平成29年10月頃売電開始の予定でしたが、現状ではパネル設置の工事は行われていません。
町有地貸付の契約内容および貸付期間は、

町長

館岩地域大久保地区の町有地は、ジャパソラーパワーリアルエステート合同会社の養父謙一氏に対し、平成26年11月28日付で貸借契約をしています。

土地は、太陽光発電事業を実施するための施設建設と運用することを目的とし、貸付期間は建設期間および電力受給開始から20年間とするものです。
面積は41万9453・46㎡で賃料は年間420万円です。



太陽光パネル設置予定の町有地のようす（館岩地域大久保地区内）
手前のパネルは試験的に設置されたもの

事業の遅れが気になる、去る8月25日に事業関係者から説明を受けた結果、平成31年春の売電開始を目指すとのこと。
町としても事業進捗状況を随時確認していきます。

町長の三期目の出馬決意は

町長＝引き続き町政を担わせていただきたい

問

これまでの町政運営を省みて、達成感と反省点および3期目に向けた考へと決意は。

町長

就任以来「公平・公正・誠実・思いやり」をモットーに町政を担ってまいりました。在任期間を振り返ると、東日本大震災に始まり、新潟・福島豪雨災害や、関東・東北豪雨災害等、歴史的大災害を経験しました。
昨年は合併10周年記念式典、今年8月には新庁舎落成式を挙行し、町の明るい未来に

向かい新たな一歩を踏み出すことを町民と共に確認しました。
この間の経験を活かし、町民の方々のご支持、ご支援を賜り、町政を担わせていただきたいと決意しました。

- その他の質問
- ・水道水給水事業
 - ・山村留学



子育て世代包括支援センターの役割は

町長＝さまざまな相談に応じ、子育て世代を応援

問

妊娠期から子育て世代の相談窓口として4月に設置された「子育て世代包括支援センター」の相談件数と内容は。

町長

8月末までの5カ月間に、子どもの発達の遅れや言葉の遅れ、保育所などの集団になじめない、登校しぶりなどに関して113件の相談がありました。

また、保育所、小学校の先生から子どもに対する関わり方の相談が30件ありました。

問

臨床発達心理士、言語聴覚士の資格を有する子育て支援専門員の業務内容と効果は。

町長

専門の知識と経験をいかした、子どものよいところや苦手なところを把握する各種検査の実施と検査が可能になり、客観的なデータに基づいた丁寧な指導により、保護者の信頼を得ながら、早い段階から子どもとの関わりを開始することが可能になりました。

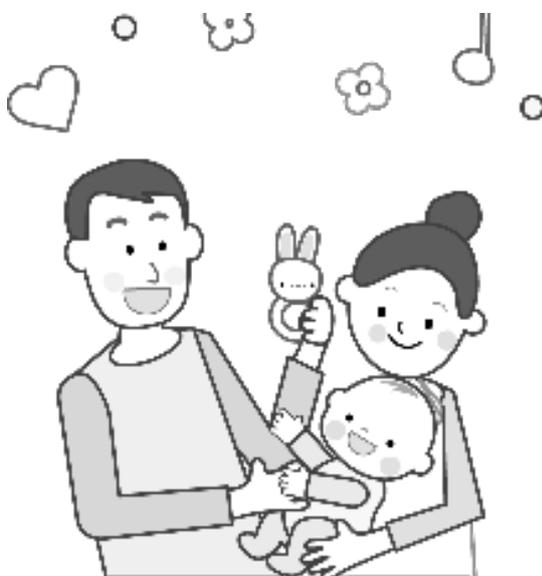
問

人間関係、社会のつながりの希薄化により、家庭において子育ての悩みは個別化・複雑化しているといわれる現在、専門的知識や資格を持つ職員の役割は今後大きくなっていくと考えますが、計画的に専門性を有する職員を増員していく考えは。

町長

幼少期から専門的な支援を受けることにより、より改善が期待されることから、早い段階から適切な支援を受けることができる環境を整える必要があると考えます。

今年度の業務内容や効果を検証し、今後の人的配置を検討していきます。



その他の質問

・リゾートイン台鞍の拡充は



さいたま市との交流支援策は

町長＝さいたま市と協議のうえ、支援策を進める

問 ※1 町道向山1号線の小白沢橋工事の進捗状況は。

町長 下部工はまあもなく完成見込で、年内には上部工を発注し、平成31年度中の完成を目指しています。

問 館岩少年自然の家やたかつえスキー場での南会津町産の野菜などは、どのくらい使用されているか。

町長 平成28年度の実績で、館岩少年自然の家では米6・8ト、牛乳200リットル、2600個分、たかつえスキー場では米1・47トです。

問 同施設に南会津町産のトマトやアスパラなどの野菜を提供する考えは。

町長 町内全域から提供できる仕組みづくりをJAや生産組合、個人農家など関係者と協議していきます。

問 南会津町産の加工食品、6次化商品も提供できるものがあるか検討すべきでは。

町長 たかつえスキー場では、一部じゅうねんの加工食品を提供しており、今後は加工会社や生産組合と協議し、提供できる食材の検討を進めていきます。

問 さいたま市の児童、生徒の利用増加が見込める中で、町の支援策は。

町長 今まで、児童の木工体験費用の助成やたかつえスキー場の利用に伴う特別料金での支援を行ってきました。今後もさいたま市と協議のうえ、可能な支援策を進めていきます。

また、国の地方創生拠点整備交付金を活用し、平成31年1月からスキー教室での生徒受入れのため、都市交流施設として216人収容の第2レストハウスの施設整備も進めています。

用語

※1 町道向山1号線
館岩地域の木賊集落からさいたま市立館岩少年自然の家を結ぶ町道。



第2レストハウスの整備のようす（たかつえスキー場内）



防災士の養成を

町長＝防災士養成研修講座受講者を引き続き支援

問

本町では、最近、集中豪雨の被害が多く、本年7月にも南郷を中心に集中豪雨があったばかりです。

現在、多くの自治体では、災害からの被害を最小限にとどめるために、地域防災力の担い手として「**※1**防災士の養成が進められています。現在、町内で「防災士」の有資格者は何名か。

町長

平成28年8月末現在で30名です。

問

県から「防災士養成研修講座」の募集があったと思いますが、町内各地域への周知及び受講者のとりまとめなど、本町の取り組みは。

町長

県への報告期限が短いことから、地域の自主防災組織や町民の方を対象に広く募集せず、地域防災の核を担う町消防団の本部員に対し周知を行ったところ、3名の希望者があり推薦を行いました。

問

県では、研修講座受講料、資格試験受講料、防災士資格認証登録料を負担しています。

本町では、受講会場までの交通費、宿泊費等の支援を実施していますが、今後も継続していく考えは。

町長

町といたしましては、県の防災士養成研修事業により、防災士養成研修講座を受講する方への支援については、引き続き実施していきたいと考えています。

用語

※1 防災士

“自助”“共助”“協働”を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を習得したことを、日本防災士機構が認証した人です。



町防災訓練のようす（平成29年9月10日南郷地域で実施）



南会津二次医療圏の存続と 県立南会津病院の充実強化を

町長＝郡内4町村・議会と協力し、充実強化を要望

問

南会津地域は、県内7つの医療圏で唯一、国が定める許可病床より既存病床が不足している区域で、医療過疎の状況にあります。

県立南会津病院（以下、病院）は南会津地域の中核病院ですが、診療科目は12科の内、常駐医師配置は5科のみで、通常医療も十分な状況にあります。今回、既存病床が許可病床より1000床以上上回っている会津に医療圏統合が示されました。

医療法上、統合により医療過密となり、病院の充実強化は困難と想定され、医療供給体制が一層会津若松市に偏ってしまいます。

以上のことから、先の議会で「**二次医療圏存続と、病院の充実強化の意見書**」を採択しました。

町長も議会と一緒に、医療圏存続と病院の充実強化に向けた要望活動をしていくべきでは。

町長

福島県の統合説明では「二次医療圏はなくなるが、病院機能は低下しないよう充実の方向性の中で対応していく」と言っています。

統合により、質の高い医療提供体制の確保と救急搬送などでの一層の連携が図れると考えます。

去る9月1日には県に対し、病院充実に向け、常勤医師をはじめ医療スタッフの安定的確保も要望しています。

今後も、南会津4町村、議会と協力しながら、最重点事項として病院の充実強化について要望していきます。

用語

※二次医療圏

医療法で、特殊医療・高度医療を除いた通常の医療行為が完結できる区域と区域内の許可病床を規定。

南会津二次医療圏は南会津町、下郷町、只見町、桜枝岐村で構成されているが、県は会津と南会津を一つの二次医療圏に統合することで見直しを進めている。

また、来年度からの次期医療計画に、病院の果たすべき医療機能を明確化し、充実強化を強く要望していきます。



県立南会津病院
今後の充実強化が求められる



新規林業労働者の雇用数は

町長＝13名の雇用を実現

問

新しい役場は町内の木材を使い、森林・林業・林産業にかける町の姿勢を表しています。

昨年3月策定した町の地方創生の総合戦略では、木材の生産量、総生産額、新規林業労働者の数について具体的な数値目標を決め、この9月議会で検証することになっていますが、その成果は。

町長

国へ事業申請をしましたが、残念ながら、残念ながら不採択でした。

なお、町の総合振興計画施策の個別事業について検証していただくこととなります。

問

この計画策定当初、11名の林業労働者の新規雇用があり、その後の新規雇用と平均年収は。

町長

その後4名の新規雇用がありました。2名が、2名が離職し実績は13名です。

一人当たり平均年収は、約260万円です。平均月額約21万円です。

モデル事業の主体は町か

町長＝町が事業提案・実行する

問

「林業成長産業化地域創出モデル事業」の指定を受けたが、この事業には、多くの関係者が関わるが町主体で進めるのか。

町長

関係する53の事業所・団体と意見交換を行う中で、町が事業提案を作成・実行していきます。

問

対策室などを設置し指導体制を強化すべきでは。

町長

現段階では考えていませんが、今後の動向により体制の強化に努めます。

問

ハード事業者に対する支援策は。

町長

ハード整備に15%から50%の範囲で国の補助率が定められておりますが、県や町のかさ上げを行い負担の軽減に努めます。

問

林業に取り組む町長の決意は。

町長

基幹産業である林業振興に向け、このモデル事業をとおして、若者が夢と希望を持てる活力あるまちづくりを進めていきます。

用語

※「林業成長産業化地域創出モデル事業」

地元へ利益を還元するため、地域の森林資源の循環利用を行い、林業の成長産業化の取り組みを推進する事業。

林野庁は事業を実施する「林業地域成長産業化」として全国で16地域を選定した。

南会津町は、町産材を活用した地域材の消費拡大を目指す。

町政を問う 一般質問



Jアラートに対する町の対応は

町長＝広報紙やホームページで広報に努める

問

Jアラート作動直後、町としての対応は。また、町民からの問い合わせは。

町長

町防災行政無線により町内の屋外拡声子局と戸別受信機へ放送を行いました。また、問い合わせ等は「どこに避難したらよいのか」や「再度防災行政無線で放送してほしい」などがありました。

問

小中学校への対応についての指導は。

教育長

登校前の時間帯ということもあり、各学校とも個別への対応はしていません。

問

開庁中に発生した場合、町民の避難誘導や、注意喚起の方法は。

町長

Jアラート自動放送後に屋内外にいる方へ避難誘導や注意喚起の放送を、再度防災行政無線で行います。今後、広報紙やホームページで広報に努めます。

学校プールの活用は

教育長＝町民に開放する考えはない

問

平成28年度びわのかげプールの維持管理経費と利用状況は。

教育長

維持管理経費は197万7千円、利用者数は5377名です。

問

びわのかげプールの将来的な活用は。

教育長

改修等を実施しながらレクリエーションスポーツ施設として引き続き活用していきます。

問

小中学校にあるプールを町民に開放する考えは。

教育長

小学校のプールについては、夏休み期間中も児童を対象に開放しています。びわのかげプール・館岩町民プール・伊南町民プールを適正に維持管理しながら利用していただき、学校プールは開放する考えはありません。



田島小学校プールの様子



一人でも放水可能な消火栓設置を

町長＝一人用は製造していない

問

現在の消火栓は、二人以上でないと放水が困難です。

地域によっては日中、消防団がいなくて、高齢者が多い現状にあります。

初期消火は大切であることから、一人でも放水可能な消火栓を設置しては。

町長

一人で放水可能な消火栓があれば良いと思いますが、南会津地方広域消防本部や業者に確認したところ、ないとのことでした。

初期消火が大切と認識しておりますので、地区自主防災訓練などの際、消火栓を使用した初期消火訓練も実施していただくよう指導します。

納税を郵便局でも

町長＝実施に向け検討

問

郵便局・簡易郵便局での納税はできないか。

町長

近年、高齢化による交通弱者の増加などによ

一万本のヤマザクラに名前を

町長＝実行委員会で検討

問

「ヤマザクラ一万本の里づくり事業」と共に、町宣言の具体的活動につながることから、苗木を植樹した際、子どもたちや地区などの名前を付けてはどうか。

町長

本事業を推進する上で、大変効果的な方法と考えますので、ヤマザクラ一万本の里づくり実行委員会を中心に検討します。

新庁舎協働スペースの活用を

町長＝町民と深まるよう実践

問

町の案内人の活動には、本町を訪れる人たちが、大いに好評を得ています。

また、行政区においても地区の活性化、まちづくりに取り組みられています。こうした取り組みをしている団体や地区などの活動を掲示し、そ

町長

外構工事が完了し、駐車スペースが確保される次策、町民との協働が深まる活用を実践します。

の人たちが活動内容を説明していただく交流の場とすることはできないか。

用語

※1 町の宣言(平成29年6月15日に可決)
移りゆく四季、人と自然を未来につなぐまちづくり



新庁舎1階多目的ホールの様子

町政を問う 一般質問



通年型屋内プールを建設し町民の健康維持を

町長＝既存スポーツ施設的环境を整える

問

びわのかげプールは30年以上経過し、老朽化しています。

新庁舎が地中熱利用冷暖房装置を導入し、省エネで快適な環境の公共施設へと大きく改善されたように、次は地中熱利用システムを使った通年型屋内プールを建設すべきでは。

町長

屋内温水プールについては、現時点での建設予定はありません。

現在のプールの改修等を行いながら夏場における町民の健康維持と体力向上を含めたレクリエーションスポーツ施設として引き続き利用していきます。

問

通年型屋内プールがあれば現在、太極拳、ヨガ、フラ、グラウンドゴルフなどで健康維持に努める人たちの更なる健康増進、各種スポーツ大会で活躍する小・中高生の皆さんの体力強化に大きく貢献すると同時に介護予防と医療費削減につながると考えます。

町長

屋内温水プールの利用による町民の健康維持、介護予防や医療費削減に有効だと考えますが、既存のスポーツ施設の環境を整え「いつでも」「どこでも」「誰でも」が参加できる町民の健康づくりを含めた生涯スポーツを振興していきます。

駅から役場までを統一景観に

町長＝周辺の景観を考慮し計画する

問

会津田島駅から役場までの通りの景観は統一性がありません。

レンガ道風カラーアスファルト舗装などで統一的な景観にすべきでは。

町長

国道121号から新庁舎までの町道中町・後原線は、現在、舗装の打ち替えや道路側溝の修繕等の設計を委託し、周辺の景観を考慮したカラー舗装や区画線等での歩行空間の確保などを検討中で、年内には計画をまとめる予定です。



新庁舎から見た会津田島駅までの通りのようす

その他の質問
・新しく導入されたテレビ会議システム



町の花「ヤマツツジ」で町おこしを

町長＝町の花として景観の町づくりを推進



町の花「ヤマツツジ」

問

町民の中には町の花・木・鳥を知らない方が多くいます。

町の花を知っていたり、関心を持っていただけき、「ヤマザクラ1万本の里づくり事業」も大事なことです。町の花「ヤマツツジ」で町おこしをしては。

町長

ヤマザクラ事業と同様、一体的な自然景観づくりの一要素ととらえ、町の花として、より町民に親しみを持って

ような景観の町づくりを推進していきたいです。町緑化推進事業の中で、各地区から要望のあった樹種を、数に限りはありますが、地域の景観づくりや緑化の推進に活用しています。

誘客のため、街並みの整備は

町長＝最重要路線として議論を進める

問

リバティ会津運行により、

土・日曜日は街中散策の観光客が見られま

す。観光客増加のために、駅から新庁舎までの街並みをどのように考えているか。

町長

田島地区中心市街地活

性化ビジョン策定を商工会が中心となり検討中であり、「自然の恵みと伝統文化をだれもが実感しだれもが訪れたい街」を基本視点に議論を展開、重点施策の一つ「写真写りの良い街並みづくり」で街並みや景観づくりの検討をしています。

会津田島駅から役場

新庁舎までの導線を意識した景観づくりとして、空き店舗の活用、ポケットパークや案内看板の整備、景観に配慮した建物の配色等が検討され、道路改良も景観に配慮したカラー舗装に生かします。

また、駅より中心市街地に観光客を誘導する最重要路線としてとらえ、事業計画の具体化に向け、議論を進めます。

田部原第一区で開催

日時	8月25日(金) 午後6時30分から
会場	田部原コミュニティセンター
参加者	区長ほか7名
出席議員	湯田賢太郎・森 秀一・渡部訓正 湯田 哲・高野精一・菅家幸弘
質疑事項	①南会津二次医療圏の存続とは ②中学生のスクールバスの年間運行はできないか ③トマト農家によるIターン者はいるか
要望・意見	①田島二小への通学路の道路拡幅と歩道整備をしてほしい。 ②三角公園のブランコや遊具が古くなっている。危険なため、対応してほしい。



※質疑事項および要望・意見は一部のみ掲載しています。なお、いただいた意見や要望は所管委員会で調査し、結果を区長宛に回答します。

【議会報告会を開催しませんか】

行政区長や各種団体などの代表者を通して、議会議員または議会事務局へご連絡ください。その際に、開催希望日などがあれば、併せてお知らせください。

開催時期は、定例会終了後、概ね1カ月半以内で、申込受付は先着順で3団体までとなります。

【表紙の紹介】

田部原保育所



町立田部原保育所の保育目標は、
「心豊かな子ども 思いやりをもつ」
「丈夫な身体 生命の大切さを知る」
「挨拶のできる子ども 基本的な生活習慣を身につける」
の3つです。
老人ホームや介護施設との交流など地域のふれあいにも取り組んでいます。



地域とのふれあいも楽しく取り組んでいます。



みんな仲良く集合写真！

町民の声

南会津町へU・Iターンしてきた方へ、移住されたきっかけや町の魅力をインタビューしました。



大槻 桂治さん (38)
奥さんと子ども3人で郡山市から南会津町へ
Iターンし、ヨークベニマル田島店内で
メガネ店を営んでおり、現在1年目とのこと
です。

Q 南会津町に来られるまでにはどちらにお住まいでしたか？

大槻さん 郡山市です。

Q Iターンのきっかけを教えてください。

大槻さん 前の仕事で知り合った取引先の方より、南会津町でメガネ店をしていた方が引退するので、その後を受

けてやってみないかと紹介をいただいたのがきっかけです。

Q 独立することへの不安はありましたか？

大槻さん 本来お客様と

関わる仕事でしたので、不安はありませんでした。

一番不安に感じていたのは、地域の方々に受け入れていただけるかということでした。

Q 南会津町の魅力はなんですか？

大槻さん 春夏秋冬が

はつきりしていて豊かな大自然があることです。

何より南会津町の祇園祭に出会えたこと。

祇園の町に来れたことがうれしいです。

Q 困っていることはありますか？

大槻さん 仕事は休めな

いので、家族で出かけることができないことです。

Q 今後の目標は？

大槻さん スポー

ツブレンドのサングラスの展開やカラーレンズなどを使用した眼に優しいサポートアイテムを強化していきたいと思っています。

Q 最後に一言どうぞ。

大槻さん メガネ

をはじめ、サングラスやゴーグルにも度をつけることができます。

眼鏡でお困りの方、どなたでもお越しください。

心よりお待ちしております。

平成29年第4回定例会 12月8日(金)開会予定 傍聴してみませんか

議会を傍聴する手続きは簡単です。本庁3階の議場傍聴席入り口で住所と氏名を書くだけです。傍聴席では、提出された議案も閲覧できます。



五十嵐議長 県町村議会議長会会長 として1年間お疲れ様でした!

昨年5月9日に県内46町村議会議長の代表として、福島県町村議会議長会会長に就任した五十嵐可議長が、今年6月2日、県町村議会議長会定期総会をもってその任を終えられました。

その功績が称えられ、全国町村議会議長会会長から感謝状が贈られました。

【発行】福島県南会津町議会 【編集】議会広報委員会 【印刷】馬場印刷所

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字後原甲3531-1 TEL: 0241-62-6310 FAX: 0241-62-1288

【ホームページ】<http://www.minamiaizu.org/gikai/>